

# 今、セクハラを考え直す

～基調講演「21世紀のセクハラ常識—財務省事件と#Me Tooから学ぶ」～

『セクシュアル・ハラスメント』という言葉自体は、1989年に既に新語・流行語大賞を受賞しており、それから約30年が経過した今日、むしろ使い古された言葉であるといった印象すら受けるかもしれません。しかし、近年になって世界各国でMe too運動が広がりを見せているとおり、この問題自体は、なくなるどころか、今なおその問題の大きさが日々浮き彫りになりつつあると言っても過言ではありません。

この度は、「セクハラ」の語を流通させるきっかけとなった福岡セクハラ裁判にも関わられ、また、「キャンパス・セクシュアル・ハラスメント・全国ネットワーク」の中心メンバーのひとりとして、この問題に理論・実践の両面から取り組んでこられた牟田和恵氏をお招きして基調講演をいただくとともに、ジャーナリスト、弁護士といった対談者の方に加わっていただき、セクハラの本質について対談していただきます。今、改めて、そもそもセクハラとは何なのか、考え直してみませんか。

日時・会場／平成30年

# 12月1日(土)

午後1時30分～午後4時30分  
開場:午後1時

## 岡山弁護士会館

岡山市北区南方1-8-29

Program

### ●第1部 基調講演

「21世紀のセクハラ常識—財務省事件と#Me Tooから学ぶ」

講師 牟田和恵氏 (大阪大学大学院人間科学研究科教授)

### ●第2部 対談

牟田和恵氏 (大阪大学大学院人間科学研究科教授)

松元千枝氏 (英和フリージャーナリスト、「労働情報」編集人)

高崎和美弁護士 (岡山弁護士会所属)

佐々木正有弁護士 (岡山弁護士会所属)

入場  
無料  
[予約不要]

#### 講演者 紹介

#### 牟田和恵氏

(大阪大学大学院人間科学研究科教授、  
社会学者(歴史社会学、ジェンダー論))

1956年生まれ。1983年、京都大学文学部社会学専攻卒業。85年、同文学研究科修士課程修了。87年、同博士課程退学。89年、日本で初めて「セクハラ」の語を流通させるきっかけとなった福岡セクハラ裁判に関わる。現在「キャンパス・セクシュアル・ハラスメント・全国ネットワーク」の中心メンバーのひとりとして、この問題に理論・実践の両面から取り組む。ロングセラー「部長、その恋愛はセクハラです!」(集英社新書)著者。2018年11月に、第2弾の「ここからセクハラ!アウトが分からない男、もう我慢しない女」(集英社)を出版予定。



#### 対談者 紹介

#### 松元千枝氏

(メディアで働く女性ネットワーク 代表世話人)

フリージャーナリスト、『労働情報』編集人。英字新聞記者、海外通信社東京特派員を経て2009年に独立。労働、原発、ジェンダーなど日本における社会問題について取材し、国内外メディアやインターネットテレビなどで発信する。大学ではメディア分析と現代の社会問題について講義する一方、人権学習コレクティブやメディアで働く女性ネットワークなどで活動する。



#### 高崎和美氏 (弁護士、岡山弁護士会所属)

2000年 弁護士登録  
2005年 デートDV防止プロジェクト・おかやまに参加  
2014年 岡山弁護士会両性の平等に関する委員会担当副会長  
2018年 一般社団法人ペンギンプロジェクト  
(困難を抱える若年女性支援の団体) 共同代表



#### 佐々木正有氏 (弁護士、岡山弁護士会所属)

1970年生まれ  
2005年10月弁護士登録  
2008年11月佐々木正有法律事務所開業  
現在、日本司法支援センター岡山地方事務所 副所長



会場には駐車場がありません。  
公共交通機関をお使い下さい。

●JR岡山駅より  
徒歩15分

主催 岡山弁護士会

共催 日本司法支援センター岡山地方事務所

後援 岡山県(申請予定)、岡山市(申請予定)、倉敷市(申請予定)

■お問い合わせ先

岡山弁護士会

TEL086-223-4401(代)

岡山弁護士会

検索

〒700-0807  
岡山市北区南方1-8-29